

東京都防災(語学) ボランティアニュース

東京都防災(語学)ボランティアの皆様には活動情報や豆知識をお送りするメールニュースです。今月は以下のような内容です。

今号のラインアップ

- ◎ 東京都からのお知らせ
- ◎ 東京都防災(語学)ボランティア第3回研修のご案内
- ◎ 情報提供_研修のご案内

◎ 東京都からのお知らせ

【予告】令和4年度～

「東京都防災(語学)ボランティアシステム(仮称)」を導入します！

- ◆ 東京都では、東京都防災(語学)ボランティア(以下「語ボラ」という。)の登録情報の管理と、災害時に避難所等への語ボラの派遣を円滑に行うためのシステムを新たに導入します。
※令和4年度～本格運用開始予定
- ◆ システム導入後は、語ボラの新規登録や登録情報変更等の各種手続き、語ボラの皆様へのメール連絡等は、システムを介して実施する予定です。
- ◆ 来年度も語ボラとして登録を継続いただける方につきましては、現在ご登録いただいている情報を今年度末にシステムへ移行し、以後、システム上で管理させていただく予定です。
- ◆ システムの利用者は、以下のとおりです。
東京都(システムの保守・運用業務は外部事業者に委託予定)
語ボラ登録者・派遣要請者(区市町村職員等)
※個人情報、東京都が適正に管理します。

詳細は令和4年2月上旬頃(予定)に、別途語ボラの皆様にご案内します。

◎東京都防災(語学)ボランティア研修のご案内

第3回研修

申込受付中

2022
2/7

事例研究 「多文化共生社会における災害対応」

■ 外国人とともに進める地域防災

講師/ファシリテーター 田村太郎氏

今年度は、東日本大震災から10年、熊本地震から5年となります。近年、地震はもちろん、台風、大雨による風水害が頻発するほか、コロナの影響による避難所運営など、災害現場にも新たな課題が出ています。

第3回研修では、**田村太郎**さんにこのような近年の災害対応の事例についてお話いただきます。



■ 聞いてみよう！支援者として活躍する外国人の生の声！

後半では、災害現場で外国人被災者の支援を行う外国人の方々をパネリストとして呼びびします。田村氏をファシリテーターとして、パネリストの皆様の活動事例報告をうかがいながら、災害時における外国人支援の在り方を学びます。外国人住民ならではのリアルな声をお届けします！



楊梓(ようし)氏
(中国出身)
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター



アントニオ・フスター氏
(フィリピン出身)
札幌災害外国人支援チーム
SAFE



譚 俊偉(たんしゅんわい)氏
(ブラジル出身)
岡山県総社市役所市民生活部
人権・まちづくり課・国際交流係

◆お申し込みはこちら◆



研修専用サイト

<https://e.try-sky.com/bousai-gv>



◎情報提供 研修のご案内 ①

東京外国人支援ネットワークが主催する研修のご案内です。本研修テーマに興味がある方であればどなたでもご参加いただけますので、参加をご希望の場合は、下記申込フォームから直接お申し込みください。

令和3年度東京外国人支援ネットワーク第2回研修会

「外国人相談の基礎知識と語学ボランティアの役割」

2002年、都内9か所の市区でスタートした東京都の「外国人のためのリレー専門家相談会」は、今年20年目を迎えます。前回の研修会では、リレー専門家相談会の成り立ちを振り返り、その趣旨をご紹介いたしました。今回は、語学ボランティア初心者向けの外国人相談の基礎研修と位置づけ、研修会を開催いたします。リレー専門家相談会などで語学ボランティアの方と関わってきた弁護士の中島広勝先生を講師としてお招きし、語学ボランティアとして知っておくべき外国人相談のポイントについて、ご講義頂きます。

●日時: 令和4年1月21日(金)14:00～16:00

●講 師: 弁護士 中島 広勝 氏

●内 容: リレー専門家相談会に関わる語学ボランティアとして知っておくべきポイントについて学びます。
・外国人相談の基礎知識(在留資格、準拠法、裁判管轄等)
・外国人相談の事例紹介
・通訳する際の留意事項 など

●開催方法: Zoomによるオンライン開催
※Zoomのリンク、パスコード等は後日別途、お送りします。

●対 象: 区市国際交流協会職員・通訳ボランティア・相談員、
区市町村国際交流担当職員等
※語学ボランティア以外の上記の方にもご参加いただけます。

●定 員: 100名(先着順)

●参加費: 無 料

●申込方法: 下記のお申込みフォームよりお申込みください。
<URL> <https://forms.office.com/r/mU18bzUiT9>

●申込締切: 令和4年1月17日(月)

●主催: 東京外国人支援ネットワーク
(事務局)一般財団法人東京都つながり創生財団 多文化共生課 担当: 中谷
TEL: 03-6258-1226 E-mail: shiennet@tokyo-tsunagari.or.jp

◎情報提供 研修のご案内 ②

(一財)東京都つながり創生財団が主催する研修のご案内です。
本研修テーマに興味がある方であればどなたでもご参加いただけますので、参加をご希望の場合は、下記申込フォームから直接お申し込みください。

熊本地震に学ぶ 災害時の外国人の脆弱性と やさしい日本語の活用

開催日

2022年1月21日(金) 10:00~12:00

対象

社会福祉協議会・ボランティアセンター関係者、災害時に地域・組織で活動をする方、災害ボランティア、本研修テーマに興味がある方など

開催方法

ZOOMミーティング

申込

下記フォームよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/NzdXfxL5nW>

締切: 2022年1月18日(火) まで



定員

50名

参加費

無料

内容

- 前半は、熊本地震を経験した二人の外国人当事者に当時の体験を語って頂き、災害時要配慮者である外国人が、発災時にどのような課題を抱えるのかを学びます。
- 後半は、それらの対策となりうる「やさしい日本語」とはどのようなものなのか、考え方や使い方のコツを学び、実践を交えて「やさしい日本語」の基本を習得します。

講師

◆ファシリテーター

八木 浩光 氏 (一財)熊本市国際交流振興事業団 事務局長

国際交流・国際協力及び多文化共生事業を企画・実施し、熊本市の活性化と発展を推進。
2016年の熊本地震時には、外国人避難対応施設、および災害多言語支援センターを開設運営した。

◆やさしい日本語講師

道本 ゆう子 氏 日本語教師・地域日本語教育コーディネーター

熊本市多言語文化総合教育センター・崇城大学・熊本YMCAにて日本語非常勤講師を務める。八代市・合志市・人吉市などで、やさしい日本語講座を実施。地域日本語教育コーディネーターとして、八代市などで活躍。

◆パネリスト

アンドリュー・ミッチェル 氏 熊本大学HIGOプログラム特任助教

2014年にイギリスから熊本大学の博士課程に入学。熊本地震をきっかけに、他の留学生と共に、日本で外国人として被災した経験を伝える「熊本地震体験プロジェクト (KEEP)」を設立。

楊 軍 (谷尾 陽子) 氏 熊本中国人コミュニティ、熊本外国人総合相談プラザ 中国語支援員

中国北京市出身で、現在在住歴30年。2004年から熊本市国際交流振興事業団の嘱託職員、2009年からは同事業団の中国人のための教育・生活相談員として勤務。2016年の熊本地震では、避難所を巡回し外国人のサポートを行った。

主催: (一財)東京都つながり創生財団

【問合せ先】多文化共生課 電話: 03-6258-1237 メール: yasaniichi@tokyo-tsunagari.or.jp



«語ボラニュースの内容に係るお問合せはこちら»

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
東京都 生活文化局 都民生活部 地域活動推進課

東京都防災（語学）ボランティア担当

e-mail : S8000224@section.metro.tokyo.jp
TEL 03-5320-7738 FAX 03-5388-1331

東京都生活文化局 公式ホームページ（語ボラ関連ページ）

http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/chiiki_tabunka/tabunka/tabunkasuishin/0000000145.html

最後までお読みいただきありがとうございました

